

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和2年7月30日(2020.7.30)

【公開番号】特開2019-12452(P2019-12452A)

【公開日】平成31年1月24日(2019.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2019-003

【出願番号】特願2017-129216(P2017-129216)

【国際特許分類】

G 06 T 7/00 (2017.01)

【F I】

G 06 T 7/00 510 F

【手続補正書】

【提出日】令和2年6月18日(2020.6.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

予め登録された認証用画像を用いて、撮影された画像に含まれる人物が前記認証用画像に係る人物であるかを判定する判定手段と、

前記判定手段による、撮影された画像に含まれる人物が前記認証用画像に係る人物ではないとの判定に基づき、当該撮影された画像を認証用画像として登録する登録手段と、  
を備えることを特徴とする情報処理システム。

【請求項2】

前記撮影された画像について、認証用画像として登録するかの選択を受け付ける受付手段をさらに備え、

前記登録手段は、前記受付手段により、認証用画像として登録する旨の選択を受け付いた画像を認証用画像として登録することを特徴とする請求項1に記載の情報処理システム

。

【請求項3】

前記受付手段は、前記判定手段により撮影された画像に含まれる人物が前記認証用画像に係る人物ではないと判定された場合に、当該撮影された画像を認証用画像として登録するかの選択を受け付けることを特徴とする請求項2に記載の情報処理システム。

【請求項4】

撮影された画像に含まれる人物が前記認証用画像に係る人物ではないと判定された画像を表示する表示手段をさらに備え、

前記受付手段は、前記表示手段で表示された画像について、認証用画像として登録するか選択を受け付けることを特徴とする請求項2または3に記載の情報処理システム。

【請求項5】

前記表示手段は、さらに、撮影された画像に含まれる人物が前記認証用画像に係る人物ではないと判定されていた時間帯に撮影された画像を表示することを特徴とし、

前記受付手段は、さらに、前記表示手段により表示された画像のうち、認証用画像として登録する画像の選択を受け付けることを特徴とする請求項4に記載の情報処理システム

。

【請求項6】

登録された認証用画像の使用状況に基づき、撮影された画像に含まれる人物が前記認証

用画像に係る人物であるかの判定に用いる認証用画像を特定する特定手段をさらに備え、  
前記判定手段は、前記特定手段により特定された認証用画像を用いて判定を行うことを  
特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の情報処理システム。

【請求項 7】

情報処理システムの判定手段が、予め登録された認証用画像を用いて、撮影された画像に含まれる人物が前記認証用画像に係る人物であるかを判定する判定工程と、  
前記情報処理システムの登録手段が、前記判定工程による、撮影された画像に含まれる人物が前記認証用画像に係る人物ではないとの判定に基づき、当該撮影された画像を認証用画像として登録する登録工程と、  
を備えることを特徴とする情報処理方法。

【請求項 8】

コンピュータを、  
予め登録された認証用画像を用いて、撮影された画像に含まれる人物が前記認証用画像に係る人物であるかを判定する判定手段と、  
前記判定手段による、撮影された画像に含まれる人物が前記認証用画像に係る人物ではないとの判定に基づき、当該撮影された画像を認証用画像として登録する登録手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

そこで、本発明は、画像を用いた認証処理において、本人拒否率を低減させることを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、画像を用いた認証処理において、他人許容率の高まりを抑制することを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明によれば、画像を用いた認証処理において、本人拒否率を低減させることが可能となる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、画像を用いた認証処理において、他人許容率の高まりを抑制することが可能となる。